

「Choju」だより

株式会社エース・E&L
代表取締役社長 津田 博通

【子供時代の後遺症を克服】

「Choju」は、2016年11月の販売開始以来、様々なお客様のご意見や困っている問題を解決すべく対応して参りました。今回は子供時代に中耳炎や打撲で聴こえなくなった人たちが大人になって、「CHOJU」と出会い聴こえが戻ったお話です。

（聴こえを取り戻したい人たちの思い）

最近、いろいろな難聴の方達と出会います。この方達は、80歳90歳になっても人との会話を望んでいます。人との会話を楽しむ方は、たぶんこの気持ちを死ぬまで持ち続けると思います。人生をあきらめている人は、「CHOJU」を薦めても、「もう年だから要らないよ」と言って内こもりの生活に入ります。この先にあるのは、認知症です。

（子供時代に損傷した耳の聴こえの回復）

子供時代に、中耳炎や打撲で聴こえなくなった方が試聴に来社します。この時イヤホンを両耳に差し込もうとすると、「自分は子供の時から片方が聴こえないから、イヤホンは片側だけに入れて」と言われます。しかしダメもとで「両耳にイヤホンを差してみましよう」と言い。イヤホンを差し込み、音量を上げます。突然「聴こえた」と言って驚きます。しばらくすると笑顔になります。なぜ、子供時に聴こえなくなった耳が聴こえたのでしょうか。子供時代は、補聴器などをつけても音量のない機械では、聴こえません。「CHOJU」は電池に単4を使用し、120dBまで音量を上げられます。中のレベルの音量で、長い間聴こえなかった耳で、聴こえを取り戻すことが出来ます。

（聴こえを取り戻した、母親と娘さんの会話）

お母さんが、子供時代に中耳炎で長い間片耳が聴こえなくなり、更に片方の耳も聴こえが悪くなりました。このため次第に娘さんと会話が出来なくなりました。一番大事な思春期に会話が出来ない親子は、大変だったと思います。特に娘さんは、自分の考えを理解できる母親に話が出来ないことは、大きな負担だったと思います。「CHOJU」を試聴して、両耳に聴こえを回復したお母さんが、娘さんと会話出来る様になりました。長い間、会話が出来なかった娘さんは、本当にこの瞬間、親子の会話をしました。周りにいた人達は、この光景に大変感動しました。

（「CHOJU」はなぜ聴こえるのでしょうか）

「CHOJU」には、三つの機能があります。

- 1、音量調整、小、中、大に更に5段階合計15段階の微調整機能があります。
- 2、音質調整、イヤホンに入る音声を低音、高音5段階ずつ調整可能です。
- 3、音量バランス調整機能、本体の真ん中に、耳の左右の音量を調整する機能があります。
- 4、左右イヤホンから耳に入る音声は同期が取れています。

一番、重要な機能は、3、4項です。左右の耳に送る音量調整により、左右の耳の音量バランスが取れると、良い音声が、両方の脳に同期して届き聴こえを良くしてくれます。このため、音声をはっきり認識し、聴こえを改善してくれます。ある方が「補聴器は、音は聴こえるけど、音声は聴こえない」と言われました。これは事実です。「CHOJU」を使用すると、TVのドラマの音声をはっきり聞こえます。

以上

